

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586019701	科目番号 / Course code	05860197
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12511_005		
授業科目名 / Course title	B11文化と社会 / Culture and Society (Literature Philosophy History and so on)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田口 由香, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田口 由香		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田口 由香, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 前田 桂子 / Keiko Maeda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.taguchi@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部614研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2312		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本近代史における国際環境を含む研究状況を踏まえた講義と史料解読を行う。日本の近代化に関する理解を深め、史料を活用する能力を養う。		
授業到達目標/Course goals	1) 日本の近代化における歴史的流れを理解し、説明できる。 2) 史料を解読し、活用することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業での提出物50%、小テスト50%で評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習 (2時間) : 授業内容について、参考文献等を活用して理解を深めておく。 事後学習 (2時間) : 授業で出された課題を行う。		
キーワード/Keywords	日本近代史、明治維新史、近代化、産業革命		
教科書・教材・参考書/Materials	資料を配布する。教科書は使用しない。参考文献等は授業の中で紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	日本近代史に関心を持ち、主体的に取り組むことができること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日本の近代化について、当時の史料から読み解いてみましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション・グループ分け
2	「漢語」について
3	江戸・明治期の漢文学について(講義)
4	自分の専門分野の「『漢語』なき世界」について考えよう
5	グループ調べ活動
6	ジグソー活動で発表・課題持ち帰り
7	グループ調べ活動
8	グループ発表・振り返り
9	日本の近代化とは(産業革命)
10	欧米諸国のアジア進出
11	長州藩の攘夷とは(外国船砲撃と密航留学)
12	イギリスから見た下関戦争
13	グループ調べ活動
14	グループ調べ活動
15	グループ発表・振り返り

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586020101	科目番号 / Course code	05860201
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12521_005		
授業科目名 / Course title	B11自然の科学 / Natural Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kudoh_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館406号室		
担当教員TEL/Tel	内線2329		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜の8時から8時30分 (事前に予約があると確定)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教養としての天文学を学びます。天文学の具体的な課題を演習することで自然科学の方法を体験します。</p> <p>同日の1校時と2校時とを1セット(1回)とし、その日のテーマに対して講義と計算演習を行います。</p> <p>計算演習はパソコン(主にエクセル)を用います。第1回目から毎回の授業に、長大仕様のノートパソコンを持参してください。(コンセントの数が足りないので、事前に100%の充電をしておくこと。)</p> <p>計算演習は個人で行いますが、受講生同士でわからない事を尋ねあったり、わかっている事を教えあったりしながら行うことが推奨されます。演習を通して互いに理解を深め合い、全員が授業時間内にその日の目標を達成出来る事をめざします。</p> <p>計算演習の成果は各自が簡単なレポートにまとめ、授業中(締め切り:授業日内)に提出します。提出されたレポートはLACSを通して受講生同士で互いに閲覧可能にする予定です。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>授業の導入部(最初の2回)では、次の内容が目標です。 . .</p> <p>宇宙の広がりを理解して、宇宙が地球からどのように見えるのかを説明することができる。</p> <p>そして、授業の本題として、次の二つを目指します。</p> <p>恒星や銀河までの距離を求める方法を理解し、データを用いて距離を計算することができる。 太陽系や宇宙の年齢を推定する方法を理解し、データを用いて年齢を計算することができる。</p> <p>宇宙の大きさや星までの距離は日常的な想像をはるかに超えた大きな値です。光の速さで数百万年とか数億年もかかる距離がどのようにして測られるのでしょうか?また、宇宙は約140億年前に、太陽系は約46億年前に誕生したと言われていて、どのようにしてそんな大昔に誕生したことがわかるのでしょうか?もちろん、それらを正確に求めるためには専門的な知識が必要です。しかし、その考え方を理解し、おおよその値を求めることは、教養の範囲で可能です。本授業では、その考え方を理解して、自分で距離や年齢を概算できるようになることが目標です。</p> <p>(分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	100点満点の総合点で60点以上を合格とします。内訳は以下の予定です。 演習課題の提出 = 3点/回x7回=21点 小テスト = 4点/回x7回=28点 確認テスト = 10点/回x3回=30点 実力テスト = 21点/回x1回=21点 ただし、内訳の詳細は授業開始までに若干の変更があるかもしれません。授業初日に連絡します。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	演習課題は授業日のうちにLACSに提出してください(1h)。 LACSの小テストや確認テストを期限内に行ってください(1h)。 LACSの資料や参考図書を参照して授業内容を復習してください(2h)。
キーワード/Keywords	宇宙, 銀河, 恒星, 太陽系
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しません。 参考図書: 「理系のためのExcelグラフ入門」金丸隆志著 講談社 「極・宇宙を解く」福江純, 沢武文, 高橋真聡編 恒星社厚生閣 「算数でわかる天文学」ダニエル・フライシュ, ジュリア・クレグナウ著, 河辺哲次訳 岩波書店 「宇宙地球科学」佐藤文衛, 細川秀夫著, 講談社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	パソコンを使った計算演習を行います。高校で習った sin, cos や, 指数, 対数(log)などを復習しておいてください。あと, エクセルの基本的な使用方法を参考図書「理系のためのExcelグラフ入門」などを利用して予習しておいてください。 元来計算が苦手だったり嫌いな方にはつらい授業になるかもしれません。授業を選択する際には注意してください。計算が嫌いなのに抽選で仕方なく履修せざるえない方は, これを機会に計算を好きになれるとよいですね, ちなみに, 私は好きです。あまり得意ではありませんが。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週: 2校時分	宇宙はどこまで広がっているか? (宇宙の階層構造, 惑星, 恒星, 銀河, 銀河団, 宇宙) 演習: PCソフトMi takaの使い方, 宇宙の果てまで行って帰ってくる [・小テスト]
第2週: 2校時分	空を見る時刻や季節によって見える星が違うのはなぜか? (地球から見た宇宙, 地動説, 星座) 演習: PCソフトMi takaの使い方, 長崎市で見た星空 [・小テスト]
第3週: 2校時分	恒星の距離はどのようにして測るのか? (年周視差, 距離の新しい単位: パーセク) 演習: エクセルの使い方, 太陽の近くの恒星分布図, 銀河系にある星の数 [・小テスト] [・確認テスト1]

第4週：2校時分	<p>アンドロメダ銀河の距離（230万光年）はどのようにして測るのか？ （距離と明るさ，明るさを変化させる星：変光星） 演習：銀河系の隣にあるアンドロメダ銀河までの距離，銀河の衝突 [・小テスト]</p>
第5週：2校時分	<p>恒星の大きさはどのようにしてわかるのか？ （明るさと色，熱いものから出る光：黒体放射） 演習：色と明るさで星を分類（HR図），主系列星，巨星，白色矮星 [・小テスト]</p>
第6週：2校時分	<p>宇宙に始まりがあったというのはどのようにしてわかるのか？ （遠くの銀河ほど速く遠ざかっている：ハッブル・ルメートルの法則） 演習：宇宙の膨張，遠くの銀河までの距離，宇宙の年齢 [・小テスト] [・確認テスト2]</p>
第7週：2校時分	<p>太陽系の年齢はどのようにしてわかるのか？ （太陽系の誕生と隕石，放射性壊変と時間） 演習：隕石の年代測定 [・小テスト] [・確認テスト3]</p>
第8週：1校時分	<p>まとめと振り返り [・実力テスト]</p>

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586020501	科目番号 / Course code	05860205
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12531_005		
授業科目名 / Course title	B11芸術の世界 / The World of Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mikami_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2344		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音楽基礎理論を通して、楽譜の仕組みを理解し教養の拡充に努める。		
授業到達目標/Course goals	1、音楽理論の問題、いわゆる楽典の比較的難易度の低い問題を解くことができるようになる。 2、調性などの理解を深め、読譜力を高める。 3、コードネームを学習することで、その仕組みが理解できるようになる。 (分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	LACSに1500点分の問題を用意し、各講義において授業をした後問題を解く。この点数の積み重ねによって60%以上を段階的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 授業資料にてあらかじめ学習しておく。(2H) 復習: 復習課題をLACSのテストを行う。(2H)		
キーワード/Keywords	音楽理論、楽典		
教科書・教材・参考書/Materials	楽典 理論と実習 石桁真礼生他著 音楽之友社 音楽痛論 教育芸術社 わかりやすい楽典 川辺 真著 音楽之友社		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	三上 次郎/作曲家として30年間にわたり作品を提供している/作曲法の中で歌曲の作曲や、編曲の実 践を行う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーションと音名 ドイツ語と日本語による音名を学習する。
第2回	音名と音符について ドイツ語と日本語による音名と音符の符割などを学習する。 リズムの基本構造を理解する。
第3回	音符と楽譜の読み方 変化記号の読み方の基本を中心に音名を抱き合わせで学習する。
第4回	音程について 音程の初歩について学習する。 数字音程のみならず、長・短などの音程幅について学習する。
第5回	音程について(2) 少し幅の広い音程を学習する。
第6回	音程について(3) 減、増を含む複雑な音程を学習する。
第7回	長音階と調について 長音階の構造と長調について学習する。
第8回	音階音の名称と音階固有音について 音階固有音は環境音であることを理解し、音階音の名称(主音、属音など)を学習する。
第9回	短音階と短調 3つの短音階の種類を学習し、短調について学習する。
第10回	調関係と調の判定 関係調について学習し、調号を使わない簡単な音列の調性を判定する方法を学習する。
第11回	三和音について 4種類の三和音の構造を学習する。
第12回	各調と?T??Zの三和音について 和音につくローマ数字について学習し、?T度の和音などの識別を学習する。
第13回	七の和音 七の和音についてその構造を学習する。 転回形を学習する。
第14回	コードネームについて 主にジャズやポピュラー音楽において使用されるコードネームの基本原理を学習する。
第15回	まとめ